2012 年度報告書（研究員）

氏　名	櫻田涼子
職　位	GCOE 研究員

研究概要

【GCOE における研究概要】

2012 年度は GCOE 出版プロジェクト（黄代表）に参加し、マレーシア華人社会における中元節儀礼から立ち上がる公共性について議論した。その成果は（黄蘊編）『交錯する親密性と公共性：東南アジアの社会組織にみるアイデンティティ・生存』所収論文として出版される予定である。その他、GOCE の博士論文出版プロジェクトに採択され、原稿の加筆修正作業を行っている。

【海外調査等について】

科研費研究「閉じゆく家、開きゆく家：マレーシア多民族社会における家構造の通時的多元的比較研究」（代表：三浦哲也）の研究分担者としてマレーシアの住宅調査を 2012 年 8 月 23 日から 9 月 10 日まで実施した。また GCOE 出版プロジェクトの研究費で 2012 年 19 日から 22 日まで中国・南京大学に滞在した。9 月 21 日には南京大学において「京都大学・南京大学社会学人類学若手研究者共同ワークショップ」に出席し、研究報告を行った。

【研究報告について】

2012 年度は国際ワークショップで 2 件、国内学会・研究会等において 7 件の研究報告を行った。これ以外に、3 月 24 日に代表者として採択された東北大学東北アジア研究センター共同研究「食からみる『つながり』の文化人類学的研究」ワークショップを東北大学で開催する予定である。

業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）

「家庭内祭祀から華人公共領域の成立へ：マレーシア華人社会における「盂蘭勝会」の都市的構造」黄蘊編『交錯する親密性と公共性：東南アジアの社会組織にみるアイデンティティ・生存』京都大学学術出版会（印刷中）

Film Review: Diary of an Ethnologist in China, Asian Educational Media Services E-Newsletter (winter issue), Urbana-Champaign: University of Illinois

2012 年 11 月 4 日「華字紙『星州日報』創刊時の東南アジア華僑と中国本土の関係」国際シンポジウム「漢族社会におけるヒト、文化、情報の移動」於：国立民族学博物館

2012 年 9 月 21 日「The Dynamic Relationship over "Knowledge" among Nanyang Chinese and Newspaper」京都大学・南京大学若手研究者共同フォーラム、於：南京大学